



佛 誥

手挑燈

乾





金や新吾人の心は
 一いつくもあつた
 わざらぬおとこ
 針代うらひ
 ちか
 生か
 林に
 友
 流
 学
 志



月書花記集まつりけ
真にまゝくつひ出
然し樂人くつひわ
とまじりぬる民事金
流るる所代りあり
とるるよき蒙向扱は
わふれ周りに海より
道ちるるばるあれし
ひもひ挑灯りしあり

苦念翁


吾道有真山は難下著
美の志は海に流るる
元文忠は一の其筆乃
一集とすく門下の遺を
蘇といふ聲も於心門
孝いゆしうらん事と
牛二とせ何しつらうや
登らふ志はまことに
わらふ志はまことに
ほらふ志は孤燈と概
老の法は乃切
了く手挑灯志一語と

題に... 殊... 予... 眼... 癖... 殊... 以... 一事

熊谷醉女

滋柿菴貞至書



俳諧手挑灯 上卷

凡例



奇一首ハ 三十一字

春道... 白州

...

...

篇序題曲流

...

...

...

...

下は句曲流なるも可なり

又上は句曲流下の句篇序題も有

調の姿 六義也

風賦比真雅頌

連歌詠諧一首の上の句下の

句と三句も合てすれど

連句ハ上の句に下は句と附

下の句も上は句と附

歌仙三百句百負八百句

とすれど

發句 一春の巻頭を發せし句に春

夏秋冬ホホのめくは季と入切

脇 上の句に發句と同一季と依り發句

但時候遅速といふ事たり遅速と反

第三 上の句にく換へてはくは句の

たきく發句は句ありはたき

四季の調の部にあは玉星と付を

四句目 雜の句 季のよは句とす

五句目 月の定座也月の句とす

月次秋二句は秋

六句目秋

秋の巻と初巻との内は秋の巻
秋の巻と初巻との内は秋の巻

一ウ

是ヨリ初巻ト云裏角セリハ

は次神祇天鼓悪を常述懐

筆何れもすハ

撰也巻軸のふかぢん百頁未終りの

何為句

句ハ巻巻の句ハ初巻の句ハ

句ハ巻巻の句ハ初巻の句ハ

初巻の句ハ初巻の句ハ

初巻の句ハ初巻の句ハ

歌仙句數法

初巻六句内五句月の定座 六句ハ八月がさけ

初巻十二句内七句月 十一句ハ月 十二句ハ月

此十八句と一折とハ

各残表 十二句内 十一句ハ月

同 裏 六句内 五句ハ花 是ハ母はひ乃

此十八句も一折

二折合テ二十六句也

百韻法

初巻 八句内 七句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 十三句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

源氏法

初巻 六句内 五句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

同裏 折 十四句内 九句ハ月 十一句ハ月

和字

和字 八十八句

初表八句 内七句 月
 同裏十句 内七句 月 土句 卷
 二表十句 内十句 月
 同裏十句 内七句 月 土句 卷
 三表十句 右同漸
 同裏十句 右同漸
 名残表十句 右同漸
 同裏八句 内七句 卷
 右四折三月七ツ卷四ツ也

首尾

奇仙 八句 初表六句 内七句 月 合十句 スラ云
 百負 八句 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 裏白 六句 表斗リ スラ云
 面白 八句 裏斗リ スラ云
 三ツ物 発句脇第三ツ 三句 スラ云

月

発句

夜半の月 初表六句 内七句 月 合十句 スラ云
 発句脇第三ツ 三句 スラ云
 悪ううと 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云

発句

林後 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 又 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云

同

連句 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 一順 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云

再遍

再遍 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 春季 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云

吟聲

吟聲 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 回寫 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云

獨吟

獨吟 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 前句 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 遅吟 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云
 秀逸 初表八句 内七句 月 合十句 スラ云

巻頭 巻の頭

添削 一巻の長と字通へも

巻軸 わげ

即点 早速点の出来

批言 句の所を字通より

加筆 句の所を字通より

廢美 句とめ

筆句 連中の外に執筆より

打越嫌 句の所を字通より

二句去 付句より二句を

三句去 付句より三句を

字去 付句より三句を

句去 付句より五句を

衣季 竹田の松

月松 枕燧

はらお

七句去 付句より七句を

面去 百頁八面の二面を

折去 百頁四折の一折を

二ツ四ツ去 二ツ四ツを

訓に四ツ有もの

百千方の

面去

名所 國名 在名等或は官名

人の名などに呼因

水辺山類

時の草木葉句

季に持さる

おもふ

はら

季、持字、飛、乃、つ、折、か、？

秋奠秋春二夜乃の生春後とて秋

狼父父入秋二夜乃の生春後とて秋

離三月九日二夜乃の生春後とて秋

峯入春逆秋二夜乃の生春後とて秋

古代ららむ表の内ゆひ事の中ゆひ
古人の名乃事聖賢公家武家或ハ
歌人儒者醫者町人百姓能役者
職人等の神祇釈教戀無常述
懷衰傷等にうある古人の名表の
内若かは尤在らるべし
同名所の事神祇釈教戀無常
述懷等にうある名所并國名町
郡等表の内若かは尤在らるべし

野々立甫夜話云七十二候花信詩抄等
之季誹諧取捨有事也詩歌と川も同断
七十二候に蜻蛉鳴夏詩鳴蛙秋はれ
少も連誹を春之和歌も牡丹春花信
棟春後は連誹も交はらるべし
去らるべし詩歌候と或詩書等は
身校らる事と見出し誹諧と錯乱を
うらはる南嶋の四季正月元朝ら極月ふる
細く委く此書に託置へ不通成季不用

餘ヨキヤ真マコトの事古来ははらるべし
とりらる百頁の挙句もあらるべし
折らるべし句ははらるべし表は裏十四句
月卷并太公嫌等事は百頁の法式も
遠へはらるべし百頁はひ次續二百頁或
續三百頁と呼也

百負の一句の如く餘與も又出
 但余與の如く二句去三句去の如く
 式も五句去七句去面去折去物
 いく二句去もすむ

誹諧手挑灯 目錄

- 一天象
- 一聳物
- 一降物
- 一神祇
- 一釋教
- 一戀
- 一無常
- 一述懷
- 一人倫
- 一器財
- 一支躰
- 一名所
- 一書躰
- 一火躰
- 一風躰
- 一病躰
- 一同字
- 一同別

- 居所
- 山類
- 夜分
- 水邊
- 衣服
- 食類
- 生類
- 植物
- 同高處
- 猿躰

以上

- 同付字之辨
- 賦物取様
- 月之辨
- 卷之辨
- 四季之詞
- 雜之詞
- 以呂波寄
- 發句切字

并
 發句
 歌仙

但春三月にのみ用はるる有三月
 海季小右の下に如此黒
 星と付置也四季共同斷
 并 年中諸國祭禮

手挑灯上

○天象 月日星天のりりて二句云
二句のりりて二句云

天大圓 碧落 虚空 半天
天大圓 天の圓 碧落 上同 虚空 上同 半天

星 斗柄 旋頭星 參星 七曜 二十八宿 牽牛
星 斗柄 旋頭星 參星 七曜 二十八宿 牽牛

日蝕 月蝕 天川 銀河 銀浪
日蝕 月蝕 天川 銀河 銀浪

○聳物 不ろりて三句云
一白小も捨

雲霞 虹 運氣 蜃氣樓
電 非夜難 稻妻 使夜難 遊糸 陽炎
月の暈 富士の煙 浅間山煙
松竹柳草水雨等の烟
霧ハ聳物降物两用也

○降物 不ろりて三句云
一白小も捨

雨 霰 霜 時雨 吹雪 露
雲 霞 霖 白雨 雪 志 花

○神祇 三句云
一白小も捨

伊勢大神宮 日本六十余州神々御名
宮 社壇 遷宮 三寸 長官 社頭
社 祭礼 洗米 御師 拜殿 祝言
祠 散米 神主 瑞垣 斗帳 御供
榊 祈宜 玉垣 神託 初穂 社人
後 千木 湯立 神輿 鳥居 鎮守
幣 氏神 神馬 神子 尊 天子ノ祖
贄 繪馬 禰 巫 命 臣下ノ祖
小忌衣 神樂 太々神示
水綿祿 御手洗水 幡 神供也

七五三 鵜羽膏 齋院 齋宮 伊勢

神宿 賀茂 齋院 齋宮 伊勢 忍竹指 矢大臣

叩首 神樂 大前張 小前張 里神示

起請 警絃神文 丹後有

伊勢講 太々講

非神祇

惠方 幸徳 男山 放生川 龍宮 橋姫 山姫 精進 佐保姫 龍田姫

釋教 三句太三句

諸佛の名 諸菩薩の名 佛祖の名 諸佛經の名 諸僧法衣 諸僧の官名 諸宗佛具 羅漢の名 諸山号院号 寺門跡 僧正 念佛 舍利 精舎 堂上人 題目 數珠 伽藍 和尙

塔 和讃 椰子 庫裏 長老 經 木魚 方丈 僧都 法問 五鈷 衣 眠藏 能化 論義 獨鈷 客殿 笛 所化 灌頂 帽子 輪藏 出家 鉦 觀念 燕尾 行堂 主座 座禪 厨 頭陀 宿坊 沙門 悟道 架菜 僧 入定 沙弥 禁足 素緒 女戒 坊 象徒 禪定 天蓋 破戒 護摩 尼 血脉 坐具 持戒 生飯 卷曼 須寫 諷誦 諷經 卷足 看經 立 輪 鉢扣 常香 柱杖 引導 塔婆 順礼 線香 錫杖 彼岸 石塔 鉢開 林香 回向 卯塔 因景 六道 地獄 功德 非時 齋 流轉 迎雲 未迎 極樂 曼陀羅 作麼生 結伽跢座

神陀落 須弥座 三界六道
薦僧 梵論々々 是釈三有本 百万遍 漏念佛

非釈教

煩惱坊主落等の釈詞 あまのうらみ
鐘書記 碩学 醫者 法釈名
諸職人の釈名 法印 法眼 法橋 等ナリ

○ 两部 神祇にも釈教ありと云ふ本 二句はく一句にも捨

帝釈天 辨才天 多聞天

持國天 增長天 廣目天

毘留天 大黒天 毗沙門天

摩利支天 如此天と呼ぶ神此外も西部

山伏 藤氏將末 毘中 藤掛 檜杖 梓神子

立願 通夜 雨皮形箱

月待 日待 庚申待

神佛 二句はく一句にも捨

○ 戀之詞 三句云三句より五句と續シ 一句云及不捨但當時の 点取ハ二句云云續ハ免ス

憲夫 妹許 吝気 玉章 惣

情婦 媒詢 女房 二道 妹脊 娘

恨妻 契女 内儀 形身 姿鏡 仇

妾呪 腰元 門立 口紅 紅脂 婿

女呪 荅聲 難面 爪紅 孕

文託 荅聲 待佗 白粉 誓

縁忍 密夫 袖引 化粧 思

帳曆 傾城 心中 新枕 悌

秃戲 遊女 神祈 手枕 幃

耳戲 女下 焦枕 香

白人 十話 枕繪 踊子 出合 宿

口説 振袖 野郎 口舌 流目

色狂 袖留 陰間 口吸 ぬるら
水揚 飛子 頬指 指櫛 尻目
舞子 水祝 離別 金剛 志す
物怪 七八 辻占 懐妊 梅衣
妓看 灰占 惡沮 荅車 坊主落
私語 君衆 牽頭 兼言 目元の場
念者 辻君 立名 前髪 ありあり
惣嫁 睦言 婀娜 戀慕 をぬさり
夜造 指切 腕突 入癩 せと集
揚屋 髪切 股突 蜜通 若後家
後添 湯女 白拍子 結ぶ若許
女街 千束の父 諸國傾城町の名
人目の関 人目忍ぶ ひとと志免ま
目々せ 尻にめ 子にめ け
仇々々 下級解 万きーあ
森礼 堀間見 のちくとりか

をがり 錦木 二尺五寸の本をこに
細布 女の細布とて幅のせきと布をくく機と云ふ
縷帯 女のけしきとる時 後 けしきとる
空柱 空をたてし柱 夜分也
虫の印 矢女の着た不矢ハおちるやま

非戀詞

髪 所縁 奥様 櫛 三縁 鏡
枕 女 中居 歎 宿執 夢
帯 半婢 乳母 泪 干 詐 偽
後家 下女 御局 天女 早し女
警女 市女 賤女 学女 旅の友
佛日月星と祈 句 禪
垢のなき 非とて 句に けり 忍に けり

無常之詞

并 表傷
二句本二句にても
捨れ 杖 三高去

鳥辺野 仇一野 釵の山 三途川

魂結トク人トク 灰寄トク 葬トク 河原
白骨トク 觸トク 骸トク 冥途トク 棺トク 倉トク 龍
幽靈トク 人トク 魂トク 追善トク 追悼トク

○ 迷懷之詞

二句各二句にても
捨

寡トク 白髮トク 三輪組トク 佗病人トク
貧トク 浪人トク 眉の霜トク 乞食トク 世捨トク
苦トク 継子トク 苔衣トク

○ 非迷懷詞

愚トク 賤トク 山賤座頭トク 馨女トク 柴戸トク
尉トク 翁トク 草庵トク 鉤翁トク 賣炭翁トク

○ 人倫之詞

二句各二句にても
捨

祖父トク 父トク 兄トク 姉トク 我トク 息子トク 娘トク 婿トク
祖母トク 母トク 弟トク 妹トク 妻トク 子トク 孫トク 女トク 房トク

伯父トク 甥トク 舅トク 夫トク 親トク 淺トク 拙トク 從弟トク
伯母トク 姪トク 姑トク 聿トク 聖賢トク の名トク 實トク 名トク
俗名トク 僧法師トク の名トク 頌城トク 白トク 拍子トク 野トク 席トク の名トク
はが準トク 一トク 七トク 七トク 一トク

非人倫之詞

帝トク 皇女トク 本院トク 新院トク 仙洞トク 太子トク
宮トク 親王トク 門トク 跡トク 大君トク 仙人トク 人間トク
一門トク 凡夫トク 眷屬トク 二人トク 三人トク 大勢トク
雜兵トク 衆生トク 典藥トク 外科トク 本道トク 老若トク
鍼醫トク 入道トク 百性トク 且那トク 敵トク 目代トク
俗トク 不仁トク 等トク 也トク 思同志トク 代官トク 目代トク
民トク 目付トク 苗主トク 居トク 奉行トク 身トク 某トク
私トク 地頭トク 門主トク 橋守トク 門守トク 巷守トク
山トク 姫トク 橋トク 姫トク 寒山トク 拾得トク 僧坊トク のトク 宣トク 名トク
親トク 祖師トク のトク 名トク 俗トク 宣トク 名トク 苗トク 字トク 守トク のトク 字トク
師トク 經師トク 佛師トク 繪師トク 鑄物師トク 是等也トク

天の浮橋 夢の浮橋 白川開
 月の出汐 室の八為 難波寺
 泪乃淵 軒の玉水 鶺鴒橋
 布 志賀の松 ともむ川
 三瀬川 戀せし海 蓮の上流契
 硯水 天水 岩船 水柱 笠屋
 于真 于貝 苗代 田鹽

○夜分之詞 三百本三百拾

月星曙 霄暗 篝蚊 窸言
 寐枕 齧炬 晚銀河 明星
 日待 七夕 横雲 稻妻 龍灯 鵜川
 行燈 初雞 硯狩 窸為 燈籠 挑灯
 燭灯 紙燭 燭臺 焔燭 短檠 手燭
 倣寐 居眠 夜看 燈明 送火 衣々
 深更 化物 幽冥 夜祭 辻君 夜夢 嫁

收帳 草の枕 衛士 焼火 星とこらふ
 暇入 住吉 市 星月夜 名所の時
 追儼 除夜 大曾とふ

非夜分詞

鐘泊 電礎 虫の聲 音月出
 芦火 今月 朝の月 明くま
 常燈 昼の月 暮の月 夢現 夢幻
 夕月夜 看暇入 残月 余ハハハ

○食類之詞

喰物 ト 飲物 ト 品替 人 一句にても拾
 二百本三百拾

○旅躰之詞 各つりて三百本 各つりて一句にても拾

門出 錢別 乘掛 輕尻 蒲團 張
 駄賃 木賃 跡附 本陳 旅籠 屋
 出女 駄荷 泊女 宿取 川留

手挑灯上

十五

○ 生類之詞

虫 虫鳥 鳥 鳥 鳥 鳥
同生類二百六
二句はく二百七
虫鳥 鳥 鳥 鳥 鳥
二句はく二百六

○ 植物之詞

木 木 草 草
同二百七
二句はく二百八
木 草 竹 木
二句はく二百八
不高不低植物
二百七
二百八
二百九
蔦 萩 萱 葎
菊 牡丹 枸杞 山吹 羽衣 五加木

○ 書翰之詞

文字の簿 書籍
文 墨 硯 筆 硯 墨 硯
朱引 滌書 狀 手紙 文 玉章
二百六
二百七
二百八

○ 火鉢之詞

烟 煤 燈 爐 巨 燧 火 鉢
炭 竈 等 也 余 八 准 一 考 物

○ 風鈴之詞

風 鈴 扇 團 吹 聲 聲
持 下 一 亦 八 准 一 考 物

○ 病軀之詞

藥 灸 鍼 入 湯 按 摩
醫 者 等 也 余 八 准 一 考 物

○ 器財

武 具 武 具 家 具 家 具 錢 物 錢 物
硯 墨 文 臺
二句はく二百七

事(ア)有明(サ)浅(シ)跡(セ)逢(ヘ)合(コ)
 相(ア)餘(サ)當(シ)様(セ)里(ヘ)先(コ)合(コ)
 指(ア)下(サ)小(シ)更(セ)木(ヘ)際(コ)聞(コ)合(コ)
 切(ア)消(サ)来(シ)行(セ)木(ヘ)路(コ)際(コ)聞(コ)合(コ)
 水(ア)身(サ)見(シ)皆(セ)下(ヘ)新(コ)路(コ)道(コ)聞(コ)合(コ)
 又(ア)住(サ)赤(シ)捨(セ)遣(ヘ)液(コ)物(コ)新(コ)路(コ)道(コ)聞(コ)合(コ)
 持(ア)鋪(サ)道(シ)聞(セ)合(ヘ)合(コ)

○同字別詮

御酒 柳田鶴 田太丈 大
 志賀 賀仙臺 臺代官 代
 関白 関南無 無防風 防
 傘 唐 一二 二二 二度 度
 半天 夜半 琉紫 紫 輕重 重
 代物 月代 由来 由来 行 行
 撫子 花撫子 春日 春日 戦 戦
 戦 戦 戦 戦 戦 戦

中風 中 中 人の目 秤目 今 日
 一町目 天目 也 此の類 也
 但し けいりも 文士の ありし 別号
 ありし けいりも 文士の ありし 別号

○付字之事

家ト家ト六折ト屋ト也ト家ト産ト家ト樽ト
 家の子 各付字トすト家ト字ト也
 朝 朝日山 星 星皆 神 神子
 呼 呼子鳥 乾 乾 雲 雲見草
 蘭 蘭奢待 雞卵 雞頭 紅 紅
 黒 黒蠻奴 別号トあり

○賦物之事

祖師貞徳諸門葉トすトわトは
 賦物の事 連歌トは 詠者トすト
 を 東 誹 諧 ト 多ク ト 誦 ト 也

年七十一

成りて嬌依りたる巻は舎りて反
 花誹諧之連歌すこの月の後乃吟く
 月誹諧之連歌何よりと女席の思を
 名く趣り徳めり節の予う流り反
 紙如丸相ひはれ正保三年丙三月
 十音於巻咲亭定り於之宛り望
 世とに五来る事多し取換丸不
 走るに

面白うとて拾ひたり巻を巻

やうふあ句の時

去の字取へり此上ハ誹諧の文字
 兼りて字月取内子何四取今此上
 卷五垂四ト相通するとゆふゆへに
 梅何ト取初めは此上ハ梅無と通ひ
 誹言なりとゆふゆへに
 蛸何ト九トハ蛸兼ト通ひ

支通的

何ト上ニ置時ハ

上賦といふ

下ニ何置時ハ

下賦といふ

一字露頭トハ

香ト取

二字反音トハ

義ト取

三字反音トハ

砧ト取

三字中略トハ

狐ト取

除篇添篇

借音等文字取也

余ハ古書に幾一々ハも畧之

○月之部

月 秋也 百頁ニ七ツ但ニ面ニツ宛也

月 十月 五句本 月次ノ月 三句本 音ニニ百本

月 日ニ星ニ五越トゆ 月ニ保生ニ三ツトル

月次月 保生ニ百本 月ノ月トハ 幸月卯月文月本

月代ハ二句去

月^ニ夜の字結^フ句 折と本也

總神釈名所等結^フ句 右有断

月^ニ姨捨又更科ト付^フ句

月^ニ同道具付^フ句

月^ニ同道具付^フ句

春の月一喜は月一喜の有明一喜等一

心^ノ月 胸乃月 月次は月 真如忠月

月草 寺号 山号 付字

星月夜ハ 霜と結^クと非月星の光

月の雪霜氷秋也 月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

月^ノ氷 秋^ノ月 氷^ノ月 冬月 夏月

○花之部

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花^ノ部 折ニ完 花^ノ字 三句本

花島 花乃重 花乃花 花乃葉 花乃香 花乃色 花乃味 花乃氣 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃香 花乃色 花乃味 花乃氣 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精 花乃神 花乃魂 花乃魄 花乃精

手挑灯上

社一

雜の正花、 蒼紅葉 飛蒼落葉結

余の句段よりいふべきなり

非正花分

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

花のぼり 本名綴帽也 花田帯 同上

四季之部

春

大皞 神 句芒 神 蒼天
東君 詔光 夏正

大族 律 立春 節 雨水 中 初陽

正月 青陽 孟春 辰月 睦月

端月 初月 初月 初月 初月

元日 元朝 元旦 元之 明 初月

維旦 改旦 叔氣 聖節 履端

年始 年頭 改年 申年 新正

三朝 三始 三元 禊新 新春

年代のま 君のま 時代のま 四季のま

花のま 扇のま 糸のま けのま

そのま 角のま 日のま 月のま

若のま 竹のま 年之ま かのま

四方 神 天子東西南北と稱し四方と云

四季之部

懸想文 おもて初まにいろくの勢を封て
る系初 ひめくし先 二三日 後用 四日

百羊紙 ワカナツ 芥菜摘 ワカナツ 忍びたじへに摘
七種 芥菜 鼠薺草 俗母子中 藤葉
佛座 俗田子 樹 俗水菜 羅富 俗大根

白馬節會 七日の夜禁庭へ白馬とびを法小奉
白色八青色の赤色也白ハ陰青ハ
陽陰陽和合と祝々竹白と音と唱へ也

踏歌 男ウラウ十五日 あくまうとつふあうまう
女ウラウ十六日 法廊下と走る音らんのこころこ
かハシシ 踊舞と舞に飾りて花紙こころこ
初子貞日 子貞はひか松川 子ハ初創の力相

初寅の日 初卯の日 初卯の日 住吉あり
箕面の富突 七日 十日乞び了 大宮

女王祿と孫小 八日 女叙位 同上
郊杖 初卯の日 杖柳ハ五尺三寸切 禁中ハ
奉る子せせの坊こころこハ杖と後小奉

常陸帶法神事 麻嶋のあふ女のかみく人教
多う多うの男ハ七の色と
布法帯にまう一林あ小を
ろの中月表かろしとひの
名よて木にはさくけりあり

賜召 除目とつ正月十日マテ外国の人ハ
禁中ハる任官とと後け交終とたすハ

御連歌 十日 武具鏡開 十日 牒聞 十日
九義長 十音爆竹 徳川 十四日

御薪 十日百友勢と 土籠打 十日
樹木の呪之

御占 十五日 御忌 十五日 上元日 十五日
小豆粥 同上 三保系 同上 賭弓 同上

やふ入 北日 俗ハ穀入又兼父入とわたり 六餅 同上
貴二月 北日 日田令支農業ほむ

厄神系 十九日 八幡系 同上 不動 九日
吉田清後 十九日 初天神 北日

繪踏 西回ミアリ切支丹と後日わて編まするあり
於れれ切 正月十五日一年のれ三日に切一日の内月板と押

燭 十六日 後 今月七月十六日あり

柳 香柳 凡んま 志ろ柳 志ろ柳 柳 柳
川柳 志ろ柳 志ろ柳 柳 柳

行桃町中

雪

全衣雪 雪のしる 雪のしる 雪のしる 雪のしる

霞

八重の霞 霞の衣 霞の衣 霞の衣 霞の衣

松の花

初みどり 十のり乃を

雪解

雪の解 雪の解 雪の解 雪の解

若草

若草の若 若草の若 若草の若 若草の若

若

若の若 若の若 若の若 若の若

山

山の山 山の山 山の山 山の山

妻

妻の妻 妻の妻 妻の妻 妻の妻

松

松の松 松の松 松の松 松の松

松

松の松 松の松 松の松 松の松

松

松の松 松の松 松の松 松の松

松

松の松 松の松 松の松 松の松

松

松の松 松の松 松の松 松の松

松

松の松 松の松 松の松 松の松

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

雑

雑の雑 雑の雑 雑の雑 雑の雑

夾鐘イサカネ 驚蟄オウケツ 春分中

仲春 陽中 如月

二月 令月 夜更着 梅見月

小草生月 初卷月

中和節ニチノハ 吉野の餅キタノモチ 吉野の餅ニチノハ

春日祭カサヒノマツリ 水間祭ミヅマヅメ 行基祭ユキノマツリ

遣教經テンキョウキョウ 常樂會ジョウラクカイ 柱炬火ハシロカ

比良八講ヒラヤチハチカウ 祇園八講ギンノヤチハチカウ 浅間祭サシマノマツリ

北野御忌キタノミヨシ 道明寺祭ミチアカサノマツリ 顯念佛クワンノブツ

釋奠シヤクデン 二月上丁日 春秋兩度有 後叙奠秋ナリ

文宣王 顔子 二坐 九哲クニノサトル 飾也

二月堂ニゲツドウの行 堂添ドウソヘに水ミヅを井イヅミ戸ウヅより注ツルひれり

初午ハツヌ 猪荷祭イノカマシ 赤アカとシロのウもシる

列見リツケン 土日公卿ツチニチキウケイ并ナド少納言シウナクワン外記ソトキ

社ヤシ 春令前後ハルノチノサキノチノノチのヒ日ニ無クまるル治チ蟬セン酒サケ

新アタラシのニ祓ハラヘ 七日ナナニチよりシテ十四日ヨナナナニチまでハ七ナナ日ニ祓ハラヘる

奈良真福寺ナラマキフクジ南大門ミナミノカドのチ茶チヤ室シツにテ能スおシるコト

門カド下のソノ石イシ壇イダノにテ居ス徒シまスるコト見ルおシるコト

積ツキ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ繁ハヤシ會カイ 十音ジュウオン 修シユ儀ギ 彼岸カニ 中ナカ三サン目メ時トキ正マサ正マサ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

淨スガサガ塔トウ 十六日ジュウロクニチ 琵琶法師ヒバキホウシ 舊コトスル光孝天皇ミチノカウのミコ皇女ミコノミコ乃ニ忌日ニヒ

手掛帳中

五加木 藍白く 根香法兒

二日灸 麻すく 松むきり香

彼若梯 菜の花 大根の花

八重梯 花と伝 かつら

蛇 初梯 和花 蒲公若紫

蟻 馬刀 狗脊 杉葉 孕麻

鯪 田螺 狗杞 接木 孕雀

蕪 胡葱 野蒜 接穂 雀の子

鳳中 蒸鱧 引鶴 引鴨 もろこ

姑洗 清明 穀雨 中

三月 季春 中和 花飛

上巳 桃且重三元巳上除 桃乃節候

雛 大裏雛 紙ぶね 柳うら

曲水宴 川より盆と流し川下にはを流す

汐子 任若かき 不川がし

鶏合 國もた 寒食 三月の長良の二日

巳の日は被 上巳日川果て 次乃被 上二日

依從艱 天壽 高雄法華會 十日

善導忌 十日 壬生祭 十四ヨリ 壬生忌併

嵯峨大念佛 十音 千本念佛 音のり

御身拭 十九日さかみおこなふと持ておはす身赤梅

人磨忌 十八日 御影供 廿日 志保宗母り

吉野の會式 十日

浅草祭 十八日三社 梅若信 十五日

頃の峯入 道の峰入秋之峯入斗秋一幸二友

何の折敷地と幸まは峯入斗秋と季

せすく頃逢の事南不分明

阿蘭陀の事
阿蘭陀の事
阿蘭陀の事

鞆
鞆の事
鞆の事

花盛
花盛の事
花盛の事

櫻
櫻の事
櫻の事

桃
桃の事
桃の事

躑躅
躑躅の事
躑躅の事

藤
藤の事
藤の事

山吹
山吹の事
山吹の事

茶摘
茶摘の事
茶摘の事

蚕
蚕の事
蚕の事

今法
今法の事
今法の事

忍び
忍びの事
忍びの事

竹の秋
竹の秋の事
竹の秋の事

小千
小千の事
小千の事

丁子
丁子の事
丁子の事

母子草
母子草の事
母子草の事

荻荷竹
荻荷竹の事
荻荷竹の事

仙臺菰
仙臺菰の事
仙臺菰の事

小梅
小梅の事
小梅の事

五形
五形の事
五形の事

柿葉
柿葉の事
柿葉の事

郭公
郭公の事
郭公の事

鶉の巢
鶉の巢の事
鶉の巢の事

呼子鳥
呼子鳥の事
呼子鳥の事

阿蘭陀の事
阿蘭陀の事
阿蘭陀の事

鞆の事
鞆の事
鞆の事

花盛の事
花盛の事
花盛の事

櫻の事
櫻の事
櫻の事

桃の事
桃の事
桃の事

躑躅の事
躑躅の事
躑躅の事

藤の事
藤の事
藤の事

山吹の事
山吹の事
山吹の事

茶摘の事
茶摘の事
茶摘の事

蚕の事
蚕の事
蚕の事

今法の事
今法の事
今法の事

忍びの事
忍びの事
忍びの事

竹の秋の事
竹の秋の事
竹の秋の事

小千の事
小千の事
小千の事

丁子の事
丁子の事
丁子の事

母子草の事
母子草の事
母子草の事

荻荷竹の事
荻荷竹の事
荻荷竹の事

仙臺菰の事
仙臺菰の事
仙臺菰の事

小梅の事
小梅の事
小梅の事

五形の事
五形の事
五形の事

柿葉の事
柿葉の事
柿葉の事

郭公の事
郭公の事
郭公の事

小鮎 禰 更 妙 塞 火 燧 塞

八十八夜 子 霜 別 名 残

山吹衣 子 霜 別 名 残

二月 喧 考 法 考 考

去の 限 去 限 去 限

去の 漆 去 漆 去 漆

去の 道 去 道 去 道

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

去の 儀 去 儀 去 儀

更衣 白重 赤の衣 青の衣 黒の衣

孟夏 旬 一日 天子 群臣 廟と 孫の

筑摩 祭 一日 鍋祭 ト云

灌佛 八日 佛生會 龍花會 湯の湯

神衣 祭 十四日 麻績の連と 大津と 奉る

賀茂 祭 中西日 國祭 葵祭 子の葵 女の葵

日光 祭 十七日 地主祭 清水 和歌祭 紀品

八瀬 祭 辰日 戒壇堂 開帳 八日 嵯峨 祭

水屋 能 三十四日 當摩 汰事 十四日

千團子 十六日 三井寺 鬼子母神 詣 花供 廿日

神祭 三枝 祭 南川 祭 土塔 會 寺

松前 渡 鷹 埒 入 毛と 考る 考る

郭公 子規 時鳥 杜宇 杜鵑 橘鳥 不如 歸 無常 鳥

蝙蝠 蚊 螢 腐草 螢 腐草 螢 腐草 螢

蚊 螢 腐草 螢 腐草 螢 腐草 螢

蚊 螢 腐草 螢 腐草 螢 腐草 螢

蚊 螢 腐草 螢 腐草 螢 腐草 螢

蚊 螢 腐草 螢 腐草 螢 腐草 螢

蚊 螢 腐草 螢 腐草 螢 腐草 螢

石菖 藻の卷 天南星 南天の卷
 夏菊 藻と刈 早松茸 びくびく卷
 枇杷 藻刈舟 早初茸 ぶらり卷
 名竹 洋の卷 生胡桃 下野巻
 天蓼 菱の卷 青山椒 びやう木杵
 茄子 栗の卷 桑の實 有ちり
 刈葱 茨の卷 花菖蒲 卷粘榴
 根芋 神の卷 朝露草 和布と刈
 苦草 青小豆 青い巻
 青田 固ま取 栗蔴 馬齒草
 胡瓜 稗蔴 苳蔴 胡麻蔴
 蘭 粗蔴 玉簪 ちんちん
 茶 蚊帳草 合歡の卷 わりめ刈
 築打 水麩 水饅頭 丁饅頭
 鮎 水馬 水雞 嘗る巻
 鰻 蟠螂生 蛇衣脱 蟬の巻

鬼乃巻 水鳥の巢 鴨の浮巢 蛭 蟹 蓴

黒く 白く 沖の巻 黒くくまんと 白くくまんと

六月 林鐘 小暑 大暑中
 季夏 瓜期 旦月
 遯月 水無月 風待月
 鳴神月 常夏月 陽氷

賜氷節 氷の貢 氷室 氷室乃雪
 氷餅祝 一夜酒 麻地酒 醴 粉酒

富士詣 六月會 天台赤
 祇園會 神樂と 奉らり 走らり

御躰の御 十日 神祇官のまへ 玉新 ちり

津寫祭 十日 舟祭 夜子 挑灯
 嚴寫祭 十五日 竹生寫祭 十四日 博田祭 十六日

江戸山王祭 十日 御手洗詣 廿日 鞍馬竹坊 廿日

寺地打中

伊勢祭礼 十六日 伊勢 愛宕千日詣 廿四日

大坂座摩祭 廿日 賀茂水無月之能 廿日

橋立祭 廿日 住吉御後 唐崎祭 廿日

施茶 東山北山西山のちのたつさるに備り 貧窮のまじふ月禁中より後

小蠅をけ神 大暑の夜に悪鬼四方より来りて 小蠅のしをけ

大枝 卅日 後枝川 川をへ 妻はへ 女をへ

川社 夏後 川をへ 柳をへ 木をへ

形代 川枝を人の形と作り 川をへ 菅貫 後之 具也

茅の輪 ちりやちりやとて 枝をへ 撫物 同

鎮火祭 卅日 ト部氏の行ひ 夏神樂 同

雷鳴の陳 雷声三度ありて大枝以下近衛の次 侯て帝と守護一奉りたり

三火 夏の邊の庚の日と初伏より 第四の庚と 中伏より 第五の庚の初伏未伏まで三伏あり

涼 水も涼し 涼の具 納涼の具 座頭涼 上

京四條の涼 七月 川の中に床をへ 紅の涼 十九日

江戸兩國橋の涼 八月 屋形船 舟をへ

指定喰 卅日 此日 饌供と設く其例と用

箆 淨庵産 脚馬抱箆 竹夫人 涼の具 泉 泉殿 滝殿 水閣

汗 汗手ぬぐひ 扇 五明 扇車 扇すす小 扇川

土用子 出子 團 唐らしやと團 心太 心太

わさび丹 井戸液大暑に 清水 汲びて 八反り

麻 麻引 青草 夏引糸 楮の花 紙にぬき

瓜 去毒瓜 瓜 糸瓜 夕顔 夕顔

花子花 石竹 花 川をへ 花をへ

蓮 荷葉 水芙蓉 荷葉 蓮の實 夏之

蓮 白蓮 紅蓮 蓮花 實毛 秋之

百日紅 紅まり 海松 荒和布 荒和布

射子 射子 蝉 蝉 蝉

夏虫 夏虫 夕立 夕立 夕立

神鳴 雷 雷 雷 雷

青瓢 瓢 瓢 瓢 瓢

江戸初 江戸初 夜鯨賣 夜鯨賣

青瓢 瓢 瓢 瓢 瓢

江戸初 江戸初 夜鯨賣 夜鯨賣

青瓢 瓢 瓢 瓢 瓢

江戸初 江戸初 夜鯨賣 夜鯨賣

青瓢 瓢 瓢 瓢 瓢

江戸初 江戸初 夜鯨賣 夜鯨賣

青瓢 瓢 瓢 瓢 瓢

江戸初 江戸初 夜鯨賣 夜鯨賣

青瓢 瓢 瓢 瓢 瓢

三十一

贈 大暑の節 奠わづらに 練の奠
沖膾 冬天子仲より陸と 陸の百奠の 練の奠
上州新絹 六月中旬 日野の介 佐る
石尊赤 六月廿日 相加大山 不動奥の院
極暑 ありき日 綿の卷 醬油造

火天 雲の峰 葛の卷 納豆造
潺暑 びく物 菱の卷 醬造
日盛 麻羽巾 蘭の川 奈良漬
日傘 麻羽織 菅の川 竹の皮枝
温風 振舞水 藍の川 登顔の卷
風薫 水粉 白麻川 麒麟草
藿乱 香薷散 蒲の穂 けりぬき

葛水 砂糖水 青蕃椒 席の尾花
水飯 洗ひ飯 夏枯草 茗荷の子
洗鱸 海月取 了飯 道明寺水
洗鯉 金龜虫 青鬼灯 烏糲搗

熱冷 雲雀雁鳥 鷹羽衣ひき
杏 鷺草 林檎 杏子 河子ね
李 赤草 澤泻 風蘭 凌霄
蚬 早桃 楊梅 眼皮 鯖鉤

菱の別 菱果 菱の限 菱造て
秋と隣 秋とさ 秋とね 秋とつ

秋 少皞 帝 蓐收 神 來頼
昊天 白藏 金商

夷則 律 立秋 處暑 孟秋
桐秋 初秋 首秋 明景
桐月 夕月 蘭月 女良卷月

七夕 七日御節會 硯洗 札洗 七度喰 星の手向
詩奇連誂 七夕會 星のの 星のつり
牽牛 織女 女七夕 男七夕 星の契 二ツ星
彦星 とと 妻 大飼星 けりぬき
けりぬき 百子ひめ わもつや 七ツ星
あさひの姫 けりぬき けりぬき

わまの川 銀河 銀浪 銀漢 乃川
星合乃濱 浪くく 川はみ

かき文の橋 鳥鶴 紅葉橋 妻定船

かき文の橋

かき文の橋

かき文の橋

かき文の橋

かき文の橋

かき文の橋

かき文の橋

かき文の橋

乞巧七夕の立琴 乞巧針七孔の針にしろく

七種の船萩の良尾卷のちり

七箇の池七器の水に 七箇の池七器の水に

池坊七夕の立花 池坊七夕の立花

荷前の使大寺の諸廟へ 荷前の使大寺の諸廟へ

矢殊會六道参 矢殊會六道参

清水千日詣禪買 清水千日詣禪買

盆市聖霊薙 聖霊竹 盆市聖霊薙 聖霊竹

靈祭根芽 枝豆 青さけ 靈祭根芽 枝豆 青さけ

燈籠燈籠籠 燈籠燈籠籠

送り火麻谷 大文字 送り火麻谷 大文字

三井寺三井寺 三井寺三井寺

夏書納夏書納 夏書納夏書納

盆の盆の 盆の盆の

生身生身 生身生身

相撲相撲 相撲相撲

踊踊 踊踊

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

葉葉 葉葉

養虫鳴 ハチノミ 養虫鳴 ハチノミ 養虫鳴 ハチノミ

秋の螢 ハチノミ 秋の螢 ハチノミ 秋の螢 ハチノミ

秋の胡蝶 ハチノミ 秋の胡蝶 ハチノミ 秋の胡蝶 ハチノミ

秋津虫 ハチノミ 秋津虫 ハチノミ 秋津虫 ハチノミ

虫撰 ハチノミ 虫撰 ハチノミ 虫撰 ハチノミ

鳥屋出の鷹 ハチノミ 鳥屋出の鷹 ハチノミ 鳥屋出の鷹 ハチノミ

鳩吹 ハチノミ 鳩吹 ハチノミ 鳩吹 ハチノミ

早稻 ハチノミ 早稻 ハチノミ 早稻 ハチノミ

新涼 ハチノミ 新涼 ハチノミ 新涼 ハチノミ

饒暑 ハチノミ 饒暑 ハチノミ 饒暑 ハチノミ

冷麦 ハチノミ 冷麦 ハチノミ 冷麦 ハチノミ

西瓜 ハチノミ 西瓜 ハチノミ 西瓜 ハチノミ

蕃椒 ハチノミ 蕃椒 ハチノミ 蕃椒 ハチノミ

拼散 ハチノミ 拼散 ハチノミ 拼散 ハチノミ

桐 ハチノミ 桐 ハチノミ 桐 ハチノミ

楸 ハチノミ 楸 ハチノミ 楸 ハチノミ

罍 ハチノミ 罍 ハチノミ 罍 ハチノミ

茗火 ハチノミ 茗火 ハチノミ 茗火 ハチノミ

茶調虫 ハチノミ 茶調虫 ハチノミ 茶調虫 ハチノミ

南呂 ハチノミ 南呂 ハチノミ 南呂 ハチノミ

仲秋 ハチノミ 仲秋 ハチノミ 仲秋 ハチノミ

竹春 ハチノミ 竹春 ハチノミ 竹春 ハチノミ

八月 ハチノミ 八月 ハチノミ 八月 ハチノミ

八朔 ハチノミ 八朔 ハチノミ 八朔 ハチノミ

天中節 ハチノミ 天中節 ハチノミ 天中節 ハチノミ

堰天神祭 ハチノミ 堰天神祭 ハチノミ 堰天神祭 ハチノミ

八幡祭 ハチノミ 八幡祭 ハチノミ 八幡祭 ハチノミ

阿野津八幡祭 ハチノミ 阿野津八幡祭 ハチノミ 阿野津八幡祭 ハチノミ

鶴岡八幡祭 ハチノミ 鶴岡八幡祭 ハチノミ 鶴岡八幡祭 ハチノミ

箱寄八幡祭 ハチノミ 箱寄八幡祭 ハチノミ 箱寄八幡祭 ハチノミ

深川八幡祭 ハチノミ 深川八幡祭 ハチノミ 深川八幡祭 ハチノミ

司百 ハチノミ 司百 ハチノミ 司百 ハチノミ

菅大臣祭 ハチノミ 菅大臣祭 ハチノミ 菅大臣祭 ハチノミ

火活杖乃祭

いのかまは南極遠の社なり是は
ひり一殿アの司折獄刑法と定め
以所より一刑とてかこらふなり
或罪の者以追善にうつらう

釋奠

ちこまほり 式法
二月廿二日
西院祭 卅日

名月

十五夜 三玉夜 名高月 寺各月
新月 良夜 夕の月 此外月 異名月 部三香
駒牽 駒迎 望月の駒 夕の駒 禁庭 駒
甲斐の駒牽 十七日 武藏の駒牽 廿七日

龍田姫

秋の色と染出と神
造化の神 非神 祇
秋の宮 中宮の
後の彼岸 蛇穴

小雁鳥

小雁鳥 雁鳥 雁鳥 雁鳥
雁鳥 雁鳥 雁鳥 雁鳥

兄鷓

雀 雀 雀 雀
雀 雀 雀 雀

青鷹

野 野 野 野
野 野 野 野

鷹打

鷹打 鷹打 鷹打 鷹打
鷹打 鷹打 鷹打 鷹打

馬

馬 馬 馬 馬
馬 馬 馬 馬

巴鳥

巴鳥 巴鳥 巴鳥 巴鳥
巴鳥 巴鳥 巴鳥 巴鳥

鶉

鶉 鶉 鶉 鶉
鶉 鶉 鶉 鶉

鹿

鹿 鹿 鹿 鹿
鹿 鹿 鹿 鹿

鮭

鮭 鮭 鮭 鮭
鮭 鮭 鮭 鮭

澁鮎

澁鮎 澁鮎 澁鮎 澁鮎
澁鮎 澁鮎 澁鮎 澁鮎

薄

薄 薄 薄 薄
薄 薄 薄 薄

瀉

瀉 瀉 瀉 瀉
瀉 瀉 瀉 瀉

葛

葛 葛 葛 葛
葛 葛 葛 葛

月草

月草 月草 月草 月草
月草 月草 月草 月草

馬来紅

馬来紅 馬来紅 馬来紅 馬来紅
馬来紅 馬来紅 馬来紅 馬来紅

向香

向香 向香 向香 向香
向香 向香 向香 向香

實

實 實 實 實
實 實 實 實

蒲萄

蒲萄 蒲萄 蒲萄 蒲萄
蒲萄 蒲萄 蒲萄 蒲萄

宇治

宇治 宇治 宇治 宇治
宇治 宇治 宇治 宇治

稻

稻 稻 稻 稻
稻 稻 稻 稻

八束穗

八束穗 八束穗 八束穗 八束穗
八束穗 八束穗 八束穗 八束穗

新米

新米 新米 新米 新米
新米 新米 新米 新米

秋の田田の巻見 同平川 二百十日立春ヨリ 二百十日目

東呂子東國より 稲とつち 紫山子引板とつち

本綿取吹茅 薯蕷預堀

牛房引

茅種時スレんたぬま

粟刈 種瓢草 牡丹分根

稗刈 種夕顔 蔓乃分付

稷刈 種南瓜

芽萱 種茄子

藥堀 鳳仙花 曼陀羅華

蒿堀 雞頭花 百部桂

鶉草 金剛草 蕎麥乃 卷

野菊 百夜草

鬼灯 鴉上戸 本屏の 卷

縷紅 若菘若 本屏の 卷

通草 木芙蓉 東の 卷

冬瓜 大豆引 小角豆引 三七卷

江鮮うづら 太刀魚 竹の春

初八月の 野分八月の 雨八月の

卷壇草卷く 非正卷 石石 寒露節 霜降中

無射射 玄英玄 季商

季秋 玄英玄 素秋

紅樹 菊天 素秋

舞射 殘秋 木秋

玄月 晚秋 涼秋

菊月 陰月 柳秋

九月 九月 涼月 小圓月

重陽重九 菊且 菊酒

重陽重九 菊且 菊酒

九日小袖 菊重衣 紅葉衣 紅葉土器

後の雛おひな 之の 卷

不堪田の奏 七日 是八諸國田以損亡の并と目録

桂宮相撲 八日 泉涌寺 舍利會 八日

醍醐祭 九日 能登御香宮祭 九日 伏見鞍馬祭 十日

貴布祢祭 九日 生玉祭 九日 四宮祭 十日 大津

下鳥羽祭 十日 例幣 土音 白川祭 十一日

岩倉祭 北山 栗田祭 土音 一宮祭 河津

岡崎祭 東山 本幡祭 音 鹿谷祭 音

逆髮祭 音 北山祭 音 鳴瀧祭 音

津村祭 津國 天王寺一条會 十四日

太秦祭 北日 八幡花法頭 井日 後り春看

小倉祭 十五日 天滿鑄流馬 大坂 井日

吳服祭 音 津國 波利祭 高連

野々乃別 桂川乃沖 飯

度會新嘗會 九月十六日 十七日 勅使立なり

伊勢御遷宮 十六日 廿一年自御社立替 夜色也

神田明神祭 日蓮御難餅 音

佳吉の市 十三夜 二月 月の新り 菊

後の月 栗各月 月の新り 菊

菊 菊合目精 更生 濡露 音 醉揚妃

残菊 十日の菊也 残菊以妻せり

兼和菊 黃菊也 残菊 十日の菊と 十日菊と

紅葉 色見草 紅葉の船 紅葉の筏 音

楓 音 名木散 音 葉に音

柀 音 銀杏 音 音

御所柀 音 柀 音 音

栗 音 推 音 音

菌 音 音 音 音

孟冬 折木 初冬

玄帝 秦正 上冬

始氷 方冬 新冬

小春 亥冬 早冬

十月 十月 十月

神無月 伊弉册尊神の御事なりしゆりし月也 伊弉册尊神の御事なりしゆりし月也 伊弉册尊神の御事なりしゆりし月也

神乃旅 神送 神の留主 神集

大社の神事 出雲 神立風 冬凡

宇津田老神 神とし 下元 十五日

玄猪の餅 初の亥日 承ハ子と多くてしを事なり

進爐炭 唐の焦糧 食同上 拜壇同上

興福寺法華會 東福寺開山忌 十日

法勝寺大乗會 金比羅祭 二日

達摩忌 十日 十夜の念佛 行記 龍王寺 始

維摩會 十日 日蓮御影講 法華宗

御取越 一向宗祖師親鸞上人の忌日 十月廿八日 本願寺にて大法事有未寺并在家ハ

惠美酒講 廿日 諸國商人家々にて祭 誓文拂 惠美酒の贈賣買

茶乃口切 爐開 わん灰 巨燧切 置火燧

炭 炭竈 炭焼 賣炭 炭取 炭俵 白炭 輪炭 炭 炭 炭 炭

冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠 冬籠

綿 綿 綿 綿 綿 綿 綿 綿 綿 綿 綿

糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸 糸

月牙 柿 蒲團 綿入羽織

鐘牙 紙衣 紙子羽織

初氷 着 綿子 綿子

寒菊 菊 足袋 足袋

報恩講

一向宗祖師親鸞上人乃忌日土月廿八日
本願寺にて廿二日より廿八日まで
七日の間大法事ありまゝの儀なり
廿八日迄

芝居顔見世

明日 十五日
是揃髪置 袴着
上

雪

六つのはら 雪はら 雪はら
雪はら 雪はら 雪はら
雪はら 雪はら 雪はら

雪車

雪車 雪車 雪車
雪車 雪車 雪車

雪走

雪走 雪走 雪走
雪走 雪走 雪走

雪

雪 雪 雪
雪 雪 雪

氷

氷 氷 氷
氷 氷 氷

寒苦鳥

寒苦鳥 寒苦鳥 寒苦鳥
寒苦鳥 寒苦鳥 寒苦鳥

鯨

鯨 鯨 鯨
鯨 鯨 鯨

杜夫魚

杜夫魚 杜夫魚 杜夫魚
杜夫魚 杜夫魚 杜夫魚

鮒煮凝

鮒煮凝 鮒煮凝 鮒煮凝
鮒煮凝 鮒煮凝 鮒煮凝

水仙

水仙 水仙 水仙
水仙 水仙 水仙

雪の下

雪の下 雪の下 雪の下
雪の下 雪の下 雪の下

鷹

鷹 鷹 鷹
鷹 鷹 鷹

退羽打

退羽打 退羽打 退羽打
退羽打 退羽打 退羽打

ちうし子

ちうし子 ちうし子 ちうし子
ちうし子 ちうし子 ちうし子

屋形尾

屋形尾 屋形尾 屋形尾
屋形尾 屋形尾 屋形尾

ぬく老鳥

ぬく老鳥 ぬく老鳥 ぬく老鳥
ぬく老鳥 ぬく老鳥 ぬく老鳥

鳥柴

鳥柴 鳥柴 鳥柴
鳥柴 鳥柴 鳥柴

鷹

鷹 鷹 鷹
鷹 鷹 鷹

里神樂

里神樂 里神樂 里神樂
里神樂 里神樂 里神樂

燎

燎 燎 燎
燎 燎 燎

仁徳天皇の御宇百濟國より鷹と獻す
天皇御持時始て雉は御持せざらん
是日仍て鷹の鳥は雉子とつらり
禁中の外れ神示は燎は火のたき
皆里むこと

神樂寺 神樂ののり 神流小 早奇

採物奇 採物奇 採物奇 採物奇

大前張 大前張 大前張 大前張

小前張 小前張 小前張 小前張

御火焼 御火焼 御火焼 御火焼

新玉津鴛御火焼 新玉津鴛御火焼 新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市 三嶋酉の市 三嶋酉の市

日吉臨時 日吉臨時 日吉臨時

東三條御神樂 東三條御神樂 東三條御神樂

宗像祭 宗像祭 宗像祭

春日祭 春日祭 春日祭

卒川祭 卒川祭 卒川祭

中山祭 中山祭 中山祭

日吉祭 日吉祭 日吉祭

大呂律 大呂律 大呂律

小寒節 小寒節 小寒節

大寒中 大寒中 大寒中

十二月 師走 十二月 師走

極月 極月 極月

臘月 臘月 臘月

三冬月 三冬月 三冬月

梅初月 梅初月 梅初月

春待月 春待月 春待月

子長朔日 子長朔日 子長朔日

臘八日 臘八日 臘八日

御髮上 御髮上 御髮上

着駭の政 着駭の政 着駭の政

佛名 佛名 佛名

師走 師走 師走

土牛童子像 土牛童子像 土牛童子像

早奇

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

神樂寺

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

早奇

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

早奇

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

早奇

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

早奇

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

早奇

採物奇

大前張

小前張

御火焼

新玉津鴛御火焼

三嶋酉の市

日吉臨時

東三條御神樂

宗像祭

春日祭

卒川祭

中山祭

日吉祭

大呂律

小寒節

大寒中

十二月

師走

極月

臘月

三冬月

梅初月

春待月

子長朔日

臘八日

御髮上

着駭の政

佛名

師走

餅花

黃鮒

鶺鴒

早梅

早咲梅

度鳥

探梅

早咲椿

寒造酒

臘梅

室咲梅

孟宗竹

早椿

室咲椿

寒竹

年忘

歳暮市

年取物買

煤拂

煤掃

古札納

星佛賣

年本撫

節季候

寶船賣

三月の飾お塔賣

曆未

弓矢羽子板賣買

節分

立春の除夜 上同 吉田の大拔節分

内侍所の御神樂

兼分 厄、おどし

豆打

柘指 鯛頭指 厄

大原雜俎

女三つ子 大原大原の孫堂の男

追難

鬼やい 衣配 小晦日 大晦日の

大晦魂祭

大晦日の夜 元祖乃 玉子つり

岡見

大晦日の夜 葦とふのふにきても 所に登り

齊宮と繪馬

大晦日の夜 門松

和布川の神事

長門国くややも大明神

每幸大晦日の夜 寅の刻に至りて 漫々ぞる大海 四方へりり 屏風と立し 海底平々 多り神主たいまつり 御簾と持半町より 岩間には 海底の和布と列取神前へ 備へ奉 後とつとく 海的面沙みらして もやのく 荒海

雑之詞

二季と争句、雑也 紅葉 寒暑

飛卷落葉 續句 又四時不断 何れおは

雑也 松竹の落葉 麦 足 松 緑 等

無名の虫 小鳥 柘 桂 村 雨

津 每 深 虹 蓬 生 神

蛤 浅 茅 原 芦 管 真 將

早 電 泵 雲 清 水 梅 子 養 虫

梅 森 玉 虫 梟 鷺 山 鳥 都 鳥 鮒

鯖 鰯 鹽 物 鳩 野 鷹

うけい心一しりるる心ニ有云
うけえ一のりる死詛調伏お云
うきふ一しりるる心ニ有云
うけい心一しりるる心ニ有云

のこいふお二りるるお云
のこいふお二りるるお云
のこいふお二りるるお云
のこいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云
ゆいふお二りるるお云

ゆいふお二りるるお云

す 二万本 ぶのぬふ婦
す 一より二宛 みるまぬりハおま
す 二より三宛 みるまぬりハおま
す 一より二宛 みるまぬりハおま
す 二より三宛 みるまぬりハおま
す 一より二宛 みるまぬりハおま

一文字 七句本 訓音 七句本

単編 獨ホ三句本

二文字 面本 訓音 七句本
三の字 ヨリ 十の字 二の字 一の字
百千万 各本 訓音 七句本
春 字 五季 五本 四季 各日 訓
春の字 四本 非 志 盛の字 五本

月七 考本 月次の月 強字 三句本

花四 打去 卷の字 八三句本

残る花 去 強字 去 強字 去

強字 強字 強字 強字 強字 強字

強字 強字 強字 強字 強字 強字

強字 強字 強字 強字 強字 強字

歌二 責二 和奇の分

連歌 俳諧 風雅 女流の及 略

詩 多句 短冊 色帯 小う

用 一 僅 五 本 一 各 五 本

作勢の國 一 七 曆 七 海 七 七 經

いせ 抄 終 作 勢 也 一 七 七 七 七

か 中 一 の 教 出 名 一 一 七 七 七 七

け 格 式 六 六 六 國 各 日 訓

